

令和6年8月21日、西牧大使は、令和4年度の補正予算を活用して国連人口基金(UNFPA)ナミビア事務所が実施した「誰も取り残さない 新型コロナウイルスからのよりよい復興、すべての人たちの尊厳の回復、未来の再創造、ジェンダーに基づく暴力がもたらす負の影響の緩和」プロジェクトの UNFPA の案件担当者、UNFPA を支援した KP スタジオの代表者、並びに本案件で放送関連機材を供与したフォーカス FM コミュニティラジオ局職員を公邸に招待し意見交換を実施しました。西牧大使は、ナミビアと日本の経済・開発協力について説明するとともに、UNFPA 以外にも日本政府が様々なプロジェクトをナミビア国内で実施している旨説明しました。



UNFPA、フォーカス FM、KP スタジオの代表者らと西牧大使（写真中央）